

続ボラッチョ・ボニートのメキシコ便り(No.19)

「夏の雨天は、その年を豊かにする」

・・・今年雨は少なくメキシコの作物が心配だ・・・

メキシコでは、新型インフルエンザ騒ぎが収まったと思ったら、7月の下院選挙では与党が大幅に議席を減らし、麻薬撲滅の闘いは相変わらず続いている。先ごろは国際リゾート地として知られる、アカプルコを抱える、地方州議会議員の大物議員の暗殺事件なども起きた。

また、現在雨季の季節であるが、雨の降り方が少なく、農作物の作柄に影響を与えたり、水不足が懸念されているなど、自然界にも異変が起きている。こんな話から始めると、同様に政治変動、芸能界の麻薬汚染、冷夏や集中豪雨などの気象異変など、スケールの違いの大小はあるとはいえ、日本とメキシコ、なにやら問題点の共通項は変わらない。

このような背景の下、日本とメキシコではほぼ同じ時期に、「エル・ニーニョ」という言葉が新聞を賑わした。スペイン語で、「神の子」(イエス)を意味する、「El Niño (エル・ニーニョ)」とは、南米ペルー沖の海面水温が上がる現象である。

熱帯海域の温水域の場所が変化し、大気の対流活動が活発な場所も変わるため、世界的に豪雨や低温、日照不足など、異常気象をもたらして、農作物にも大きな影響を及ぼすという。

人間生活は、古の昔より天候に依存する部分が多く、洋の東西を問わず、その年の気象変動に絶えず一喜一憂してきた。今回タイトルに採用したのは、

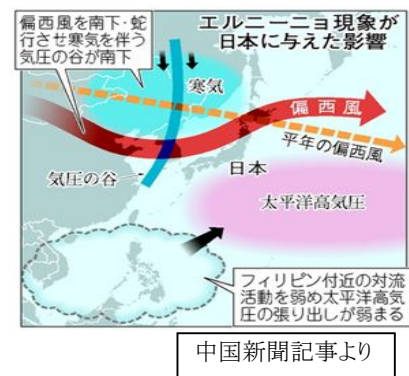
「**Polvo en invierno y lodo en verano, hacen abundoso el año**」(ポルボ エン インビエルノ イ ロド エン ベラーノ アセン アブンドソ エル アーニョ)と発音し、直訳は「冬の砂ほこり(日照り)と夏のぬかるみ(雨)が、その年を豊かに」するという、スペイン語の諺の中の、人間生活と気候の関係を表す諺がから採った。スペインは冬が雨季で夏が乾季のはずなのに、冬の砂ほこりと夏のぬかるみとはこれいかに？ そんな詮索は抜きにして素直に先人の言葉を信じよう。

当地の報道によると、今年、エル・ニーニョによる影響で、早魃がひどく、それによるトウモロコシなどの基本穀物の被害は、現時点で百万トン、1200万ヘクタールで、日本円換算で約1800億円に達すると言う。

日本で言い伝えられている、夏の日照りに凶作なしなどの言葉があるが、これは日本の農業の稲作から来ているのだろう。

しかし、当地では上記の諺と違って今年、夏の雨天が少ないので、その生活面での影響度合いは相当深刻で、この水不足は今年への影響ばかりでなく、来年へも影響を与えるといい、経済的困難が続くメキシコでは、引き続き苦しい経済的状況が続くことになる。

さて、今年の日本の台風の到来数はどうなるのだろうか。メキシコで同様な現象であるハリケーン(下図)は、今年現時点では、予測した数より少ないという。これもエル・ニーニョの影響か。



「東～、横綱 エル・ニーニョ」、「西～、大関、大西洋熱帯低気圧」、「見合って」、
 「両者同時に立ち上がりました」、「はっけよい」、「のこった」、「両者がっぷり組んだ四つ相撲です」、
 「や！エル・ニーニョが、最近台頭してきた成長過程の、北大西洋熱帯低気圧を押し込んで、優勢に押し進めています」、
 「はっけよい」、「のこった」、「のこった」
 「ア！ついに出ました。エル・ニーニョのハリケーン封じ込めという大技です。勢いよく立ち上がったとはいえ、どかっと立ちはだかって貫禄のある、エル・ニーニョの技に負けたようです。



観客はこれからも続くだろう、この両者の今後の闘いに注目しています。」

専門的に正しいかどうかは分からないが、理由を相撲実況風に書けば、このようになるだろう。

政治や麻薬など人間自身のなせる所業は、人間の英知と努力で解決に至る道が残されている。神の所業たる自然現象は、多大な被害を与えることもあるものの、一方では人間生活に貴重な財産をもたらしてくれるが、それなのに人間は勝手な存在で、負の面ばかりを捉えてぼやいてばかりいる。

神の子も今年には地上のごたごたに怒り狂ったのか、あるいはたまたまのやんちゃ振りを発揮して、太平洋の全域に地球規模的に気象変動をもたらす、スケールの大きないたづらをしたのだろうか。

科学は自然を屈服できると、豪語した話を時には聞くこともあるが、そんな無茶な考えを持つより、もっと人間は謙虚に、神様どうかこれ以上、いたづら心を起さないでくださいと、お祈りするしかないのだろうか。

(2009年8月30日、次の講義の準備の合間に書いた)



新聞報道より、左図の南北アメリカ大陸の、橙色部分が降雨量の少ない地域で、メキシコは一部を除いて全域になっている。
 また左図の気象図のうち、上部がエル・ニーニョの現象で、通常年の下と比較すると、部分的に風向きが変わっている